

Die Eiche

ディ アイヘ
<http://www.jdg-chiba.com>



Japanisch-Deutsche Gesellschaft
der Präfektur Chiba
〒274-0822 船橋市飯山満町 2-518-1
清和会第2ワールドナースィングホーム内
電話 047-461-9111 Fax 047-461-7010

「女性や若い人向けの新しい行事を」 金谷会長、年次総会で決意を表明

2017年の総会は5月20日(土)午後3時過ぎから船橋市の中央公民館で開かれた。会員48人(委任状54人)が出席した。

杉田房之・事務局長の開会の辞、日独両国歌斉唱の後、金谷誠一郎会長が挨拶に立った。会長は創立20周年を迎えた昨年の忙しい日々を送ったこと、会長自身が

(公財)日独協会(東京)の役職から今年漸く離れたことに触れたあと、「何らかの新

しいこと、とくに女性の皆さんや若い人向けの行事を取り入れながら協会を発展させていきたいと考えている。皆さまのご協力をお願いします」と述べた。

議長に金谷会長を選出し、議題の提案と審議に入った。

2016年度の事業報告(案)と、2017年度の事業計画(案)は須古正恒・副会長、2016年度の決算報告(案)と、2017年度収支予算(案)は杉田事務局長(会計担当)がそれぞれ説明した[2016年度の事業報告(案)、同 決算報告(案)は2、3頁に掲載]。2016年度収支決算報告の監査報告も行われ、議案はいずれも承認され、総会は滞りなく終了した。

総会の記念講演(別掲)後、JR船橋駅前のレストランで懇親会を開いた。41人が参加し、臼井日出男・名誉会員による乾杯の発声でワインやビール、料理でくつろいだひと時を過ごした。



<挨拶する金谷会長>



<多くの交流写真が紹介された講演会場>

記念講演 “地域に根ざした国際交流を目指して” 成田久江・市川市国際交流協会会長

当協会会員でもある成田氏の講演のテーマは「市川市国際交流協会の歴史と今後」。活動や交流の様態を69枚の写真と説明文で綴るパワーポイントがセットされ、これをアシスタントの松本定子さんが操作しながら、講演が始まった。

市川市は現在、5都市との交流がある。姉妹都市の米カリフォルニア州ガーデナ市、インドネシアのメダン市。友好都市の中国樂山市。姉妹・友好都市は全般的な交流を目指す、パートナーシティは分野を定めて交流するもので、仏イッシー・レ・ムリノー市、ドイツローゼンハイム市である。「ガーデナ市との交流は今年で55周年を迎え、7月に市の公式訪問団と、市民による親善訪問団が行く。市民はすべてボランティアで、自費。39万円の費用を安くしたいと、参加者を募っている」と成田氏。

同市の在住外国人について、成田氏は「今年1月末現在で、107カ国14,512人。うち、中国が5,880人、次いで韓国1,400人。フィリピン1,391人、ネパール875人など」と説明し、「この在住外国人が住みやすい町にするには市民との関わり方、イベントのあり方を日々考えて活動している」と話した。その成果として、日本人目線で作っていた防災マップを外国人の意見を入れて「減災マップ」を作成した。これが好評で、「(在住)外国人たちや関係団体から引っ張りだこです」と成田氏は胸を張る。

(2頁につづく)



<懇親会後の記念写真>

成田久江氏の記念講演 1頁からつづく

成田会長は講演で「海外都市交流協会と市の国際交流連絡協議会が統合されて今年で16年。通訳、翻訳や異文化交流をしていた人たちが一緒になったので活動は多岐にわたり、会員も今年の2月現在で、530人。一般が421人で、学生が43人。外国人会員も66人」と語る。協会には外国人委員会があり、委員長はフィリピンの人、副委員長は台湾の人。会費は年・1000円（一般は同2000円）。役員が外国人だと、イベントへの参加者は多い、という。



<講演する成田久江氏>

<ユニークな在留外国人の未就学児に対する日本語教育>

講演で注目されたのが在留外国人の未就学児童への取り組み。成田会長は「日本語が話せないために学校へ行けない子どもがいる。それを協会が無償で片言でも話せるように指導して、学校に行けるようにしている。去年は60人近い子どもを学校へ送り、今年も6人の児童が協会の勉強会に参加」「この日本語の指導者の養成も課題だ」と言い、同協会と提携している千葉商大、和洋女子大に共同の指導を呼びかけている、という。

<盛んなローゼンハイム市との交流 市内16校の代表がホームステイ>

「中学生は校長推薦で夏休みに派遣する。訪問先では、学校体験や折り紙、踊りなどの日本文化を紹介する。ドイツからは10月に15人が来る。これを毎年行なっている。市川のホームステイ先はすぐ決まる。家庭の申し出が多いからだ」「ドイツだけでなく交流に参加した生徒たちは、例外なく成長して帰国する。引っ込み思案だった子どもが司会・進行したり、新しい派遣先の資料作りに参加する。青少年にとって（交流体験は）すばらしい」と、成田会長は強調する。

<今後の課題 東京五輪に向けた事業 会員の高齢化と青少年の参加 >

「五輪に備えて“外国人向けのマップ”作りの検討を始めたが、他の事業をどうするか。どこの団体にも共通する会員の高齢化も大きな問題」と、成田会長は指摘する。派遣青少年の協会事業への参加者が少なく、来市する青少年の受け入れが整わないなどの問題があるが、国際感覚豊かな青少年育成の必要性を感じており、関係団体と連携して市民への啓発活動をしていきたい、と会長は抱負を述べていた。

成田久江氏 略歴：青森県弘前市生。市川市立国分小学校PTA会長・市川子供の本の会会長として父母・教師・行政三者一体となって、子どもを心豊かに育む読書活動を推進し、地域・職域などで読書の普及に尽力したものに贈られる“読書推進賞”を市川市の個人として初受賞。全国人権擁護委員連合会企画委員。2006年法務大臣表彰、11年藍綬褒章受章、12年姉妹都市50周年祝賀会で、カルフォルニア州上・下院議会より「～50年にわたり多大な文化・教育交流活動と模範的な貢献～」と表彰される。現在、市川少年文化推進会議事業委員長、市川市社会教育委員など。

2016(平成28)年度 千葉県日独協会事業報告(案)

- (1) 主な会議：◇運営委員会：毎月、第2土曜日開催。◇理事会：日時 2016年4月8日(土) 18:10～20:00 場所 船橋市中央公民館 議事・2016年度(平成28年度)総会付議事項の承認 ◇年次総会：日時 2016年4月23日(土) 14:00～18:00 場所 船橋グランドホテル 次第 議事 14:00～15:00 ・2016年度(平成28年度) 事業報告、決算報告の承認及び会計監査報告 ・2017年度(平成29年度) 事業計画、収支予算の承認 ・会長、副会長、専務理事、常任理事、理事、監事の選任 ・記念講演会講師、木戸裕氏(当協会会員、前国立国会図書館専門調査員)・演題「ドイツ大学改革の今」懇親会(会費 5800円/人)
2. 実施した主要行事： (1) 定例行事 (2) 文化・教養行事 (3) 特別行事
3. 千葉県日独協会通信「Die Eiche」の発行(偶数月6回)
4. 千葉県日独協会ホームページの運営、管理 2013年1月より公開し(<http://jdg-chiba.com>)、主要行事、記念行事、Die Eiche等を掲載し、原則毎月更新・管理している。2016年9月以降、HP管理委託者を変更。
5. 全国日独協会連合会総会：2016年4月22日(金)～23日(土) 場所 KKRホテル博多(福岡市)・当協会より、渡部理事が出席、監事に選任された。
6. 創立20周年記念行事について：2016年の創立20周年記念行事を実施した。①新春講演会：16年1/23日(土) ②Die Eiche「100号特集号」：17年4月発行③記念ドイツ旅行：16年5/20-29の10日間④Die Eiche「20周年記念号」：17年10月に発行⑤Die Eiche総集編(No.47～No.100)：17年10月発行、全会員へ配布⑥記念祝賀会、講演、懇親会：16年10/22(土)⑦協会ロゴマーク制作：会員からデザインを募集、審査委員会、デザイン専門家のアドバイスを得て16年10月「バッジ」を作成し、会員の希望者に頒布している。1個500円。
7. 千葉県知事表彰：2016年11月3日(木)「文化の日」、当協会の従来活動実績に対し国際交流に著しい貢献をしたとして表彰された。賞状は第2ワールドナッシングホーム(事務局)の玄関ホールに掲げられている。

全国日独協会連合会

2017年総会開く

千葉県日独協会通信 No.107 - 2017年6月10日

全国日独協会連合会が4月21日(金)、東京・六本木の富士フィルムHD(株)で開かれた。一連の議事の審議後、各地の協会から活動報告が行なわれた。当協会から金谷会長、橋口、須古両副会長、杉田専務理事、渡部理事が参加し、ドイツ軍人慰霊祭、新春講演会、ドイツ旅行、協会誌「Die Eiche」の発行を報告した。



<写真は、連合会総会に集う各地の協会関係者>

協会報告で注目を集めたのは「蕨・独リンデン市民交流会」。隔年でドイツを訪問し、ドイツからも訪問団を迎えて交流を深めている。ドイツワインとバザーの販売で年間300万円以上を得て、活動の資金源としているという。同交流会は、この友好・貢献により蕨市から年間30万円の補助を得るなど多彩な企画を実施するなどその活発な活動に感銘を受けた。

このほか、各地の日独協会からドイツ語講座や文化講演会、ドイツ映画鑑賞会、姉妹協会と学生との交流、若者交流、料理教室などが紹介された。湘南日独協会では「歌で楽しむドイツ語」と「ドイツ人とのお喋りの会」を年に各10回開催している。ドイツ人会員の多い横浜日独協会では若者との交流を含めた多くの日独友好の企画が開催されている。豊橋ではVWやベンツなど法人会員が49社あり、協会活動の大きな支えとなっている。

基調講演は、永野博氏(科学技術振興機構・特任フェロー)による「ドイツの科学技術政策と人材育成について～インダストリー4.0の背景を探る～」の概要は次の通り:通信技術を中心とした第四次産業革命では、企業内での情報の流れや自社と他社との情報を繋ぎ、技術革新ではなく、新しい社会的価値を創造する「インダストリー4.0」を推進する。独では連邦政府と州政府の権限が研究と教育に分離し、産学公連携システムの中で、公共機関の役割が大きくなっている。

来年の総会は金沢市で、2019年は開港150年を迎える新潟市でそれぞれ開かれる。

(渡部武弘)

千葉県日独協会

2016年度(平成28年度)収支報 一般会計(案)

(自)2016年4月1日 (至)2017年3月31日

	勘定項目	当初予算	実績	摘要
収入の部	2015年度から繰入	¥ 496,133	¥ 496,133	
	法人入会金	—		
	法人年会費	¥ 50,000	¥ 50,000	同和会,和幸電気工事,京葉ビル管理,ベンツ,清和会
	個人入会金	¥ 8,000	¥ 22,000	11名
	個人年会費	¥ 373,500	¥ 376,500	
	行事収入	¥ 65,000	¥ 98,616	旅行勉強会,ホトルシッヅ,旅行懇親会,ドイツ語講習会等
	総会懇親会費収入	¥ 232,000	¥ 220,400	38名
	寄付金	¥ 20,000	¥ 49,108	7名
	受取利息	¥ 50	¥ 112	
	雑収入	—	¥ 502	冊子頒布,他
	収入の部合計	¥ 1,244,683	¥ 1,313,371	
支出の部	協会通信作成費	¥ 78,000	¥ 89,600	5回(1回分は、特別会計で負担)
	通信費	¥ 170,000	¥ 127,592	
	行事支払諸費用	¥ 10,000	¥ 9,000	12/10忘年会,
	会議費	¥ 60,000	¥ 60,172	理事会,総会,連合,ホトルシッヅ,運委,新春講演会,等
	車代、謝礼	¥ 60,000	¥ 50,000	ホトルシッヅ研究会、新春講演会、
	団体年会費	¥ 50,000	¥ 50,000	ちば国際コン・ビューロー、千葉市国際交流、船橋市国際交流等
	印刷文具費	¥ 50,000	¥ 45,394	
	総会懇親会支払	¥ 216,000	¥ 202,200	総会懇親会費用
	交際費	¥ 23,000	¥ 46,560	香典,生花,講師昼食,市川国際交流協会,等
	ホームページ管理費	¥ 64,800	¥ 99,534	HP管理費(毎月)、ドメイン・サーバ契約・使用料、
	事務経費	¥ 40,000	¥ 40,000	
	備品購入費		¥ 13,530	データ保存用ハードワルHDD、USBメモリー、額縁、等
	記録費	¥ 5,000		
	交通費	¥ 80,000	¥ 36,860	連合総会旅費
	宿泊費	¥ 16,000	¥ 12,600	連合総会宿泊費
雑費	¥ 9,300	¥ 4,004		
	支出の部合計	¥ 932,100	¥ 887,046	
	次期繰越金	¥ 312,583	¥ 426,325	
	支出の部総合計	¥ 1,244,683	¥ 1,313,371	

「すばらしい音の流れ！」

県立千葉女子高オーケストラ部の演奏を聴いて
元ドイツ・オペラ・ベルリン専属歌手、野村陽子さんが感想を寄せる



県立千葉女子高オーケストラ部：創立は1900(M33)年。学習・進学その他、部活動、国際交流に力を入れる。1966(S41)年の弦楽器部を前身に、創立90周年記念事業でフル編成に。1996年からドイツなど9回のヨーロッパ公演。部員は総勢、121人。5/14の曲目は「くるみ割り人形」「スペイン奇想曲」「フィンランディア・合唱付」「歌劇・道化師より」「歌劇・カヴァレリア・ルスカチーナ」など10曲。



5月14日の習志野文化ホール。どのフレーズ、楽章からも素晴らしい音の流れを感じました。チームワークの勝利です。私はその流れに流されるよう、それぞれの楽章から流れ出る彼女たちの音楽が楽しめました。ひとえに指揮者の山岡健先生との繋がりが素晴らしかった！山岡先生の采配、それに応えるオーケストラ部員の演奏はとっても感動的でした。山岡先生の日頃のご努力とご指導は特筆すべきことで、さぞ大変だったことと推察しています。一つひとつのプログラムを取っても良く、解説も全体的に心配りがしてありました。

このホールの舞台上、私は1971年以前ベートーベンの第九のアルトソロは数えきれない程歌いました。今回、このホールを訪れたのは、88年ベルリン歌劇場で契約を終え帰国して以来のことですが、客席に足を踏み入れたのは今回が実は初めてでした。私たちの協会が毎年11月に主催する「ドイツ軍人慰霊祭」に、彼女たちが参加して演奏してくださることもあり、いろいろな思いを込めて会場に参りました。そして、大きな感銘を受けたのです。

最近、高校など学生のオーケストラの活発な活動とその素晴らしい成果を耳にします。喜ばしいことです。われわれプロの世界はただただ精進あるのみです。これは高校生とても同じことです。

千葉女子高の皆さんへの助言です。ヨーロッパ音楽に接している皆さんはドイツ旅行の経験があり、それが出来得る環境に感謝してください。その音楽も外国で生まれ、外国で演奏される方が多いのですから、ヨーロッパから音楽の心を吸収し、沢山の経験を心から願っています。ますますのご努力と進歩を期待しています。

<野村陽子さんプロフィール> 東京芸術大学声楽科卒。1971年ベルリン音楽大学入学、翌年オペラ・モーツァルト・ゴジ・ファン・トゥツテ・ドラベツァ役などに出演、75年首席で卒業。同年より1988年まで13年間ドイツ・オペラ・ベルリン専属歌手として数々の著名な指揮者のもと、30項目以上のオペラに出演、ヨーロッパ各地に客演する。帰国前年の87年、ドイツ・オペラ・ベルリン日本公演でワーグナー・Der Ring des Nibelungenの「ラルキューレ」のジューグネ役で出演。帰国後もオペラ二期会、椿姫、藤原オペラでバタフライなど多彩な活動を。当協会理事。

お知らせ

◆「習志野俘虜収容所100周年記念演奏会と講演会」8月3日(木)午後2時から◆

「町の音楽好きネットワーク」(代表・戸田志香さん)が主催し、習志野市民会館(☎047-476-3213・京成大久保駅前)で。収容所で作曲された歌の再現演奏会、大津留厚・神戸大学名誉教授による「世界の中の習志野俘虜収容所」の講演を行なう。¥2000(前売り¥1700)。問合せは事務局 ☎090-3808-4163へ。

運営委員会から

□ボトルシップ研究会について：研究会長に宗宮好和・名誉会長、幹事役に須古正恒・副会長が就き、活動を進める。新たな研究課題は①習志野市教委との協力強化②西郷寅太郎・収容所長の宿舎(千葉市)再訪③ドイツソーセージ伝授に寄与した飯田吉英技師の生家&かすみがうら歴史博物館見学と講演④収容所軍医、田中信男中尉、吉岡量平大佐の調査・研究など。
□東京五輪を目指す“ドイツ語会話勉強会”、ドイツ人留学生との交流などは鋭意、検討中。

お断り

※コラム「ドイツと私」は休載します

編集後記

総会が終り、協会活動の新たな一歩がスタートしました。金谷会長が総会で「女性や若い人向けの新しい行事を」と述べました。協会の高齢化に備えて新しい活動源を得るには、確かに若い人と女性の力が是非とも必要です。記念講演の成田氏は市川市の多彩な活動を支えるために、地元の大学の若い男女学生と在住外国人への呼び掛け、コラボの重要性を指摘しています。「地域に根ざした」がキーワードと感じました。高齢化を嘆いてばかりいないで、自らの“新陳代謝”のためにも新しい課題に取り組みたいものです。(M.T.)